



# 松蔭 校長室だより

2022年 3月 1日 発行

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井宣光

球根の中には 花が秘められ、さなぎの中から いのちはばたく。寒い冬の中 春はめざめる。その日、その時をただ神のみぞ知る。  
(高等学校卒業式 聖歌隊による合唱「讃美歌 21 575 番」より)

## 高等学校卒業式

高校3年生の「卒業文集」を読むと、コロナ禍の学校生活を惜しむ一方で、家族や友人、先生方など自分を支えてくれた人への感謝や、人としての成長を実感する言葉が多く記されていました。卒業式では、代表生徒が「あたり前の事が出来なかった悔しさと、ふつうに生活できることへの感謝」を述べていました。若さは、柔軟でしなやかです。コロナ禍の高校生活すべてを「かわいそうな時代」と一括（ひとくく）りせず、置かれた場所で精一杯、青春を謳歌し、花を咲かせた彼女たちの3年間の「奮闘」を高く評価したいと思います。式では、高校生活最後となる次のメッセージを届けました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご入学以来の松蔭生活では折にふれて、クリスチャンであろうとなかろうと、神様によって最も相応しい場所として松蔭に導かれた、とお伝えしたものでした。その皆さんを、私たち教職員は、正しく適切に導き、十分な支援が出来たのだろうか。球根に花が秘められているように、内なる可能性を引き出したのだろうか。仮に他の学校に入学をしていたならば、さらに成長して力を発揮したり、違う能力を身に付けたり出来たのではないだろうか？ このようなことを考えながら、お一人おひとりの顔を見て卒業証書を渡しましたが、卒業生としての誇りと自信に満ちあふれた表情は、とても素晴らしいものでした。自立する女性への一步を、着実に踏み出そうとしている様子をこの壇上からも拝見し、少しばかり安心しています。未来への旅立ちの日にあたり、私からの松蔭生活で最後のメッセージをお届けしたいと思います。

皆さんが、小学校、中学校を経て高校時代を修了する今日に至るまで、世の中の最大の変化はインターネットを前提とした、本格的なデジタル時代、ネット社会に入った事ではないでしょうか。AI、IoT、ビッグデータの活用など、最新のデジタル技術は、企業活動においては不可欠となっていますし、大学には総合情報学部やデータサイエンス学部が設置され、皆さんのなかにもこのようなデジタル社会に対応する学部、学科に進学する方もおられます。家庭でも学校生活においても、ネットの高い利便性、情報収集の高度化、学習の効率化が実現する一方で、ネット依存、スマホ依存やゲーム障害が、国内のみならず、全世界で社会問題化しています。

ウイズコロナのまっただ中であって、ある先生が「オンライン授業はやりにくい」と仰っていたことを思い返しています。対面式の授業ならば、板書して説明したり、生徒に質問を投げかけたりすると、反応をストレートに感じる事が出来る。特に松蔭生は、良い意味でも悪い意味でも、教師の一挙手一投足に見事に反応してくれるが、オンラインでは、その場のライブ感もなく、生身の人間の体温も感じられない。理解してくれているのかどうかもよく分からない。小さなフレームの顔を見ながらの授業は、双方向型と言いながらも一方通行みたいなものだ、というのです。

先日の新聞では、十数年間、日米関係を担当してきた外交官が、首脳たちの外交舞台の様子について次のように記していました。「何かと問題が多かったトランプ前大統領だったが、相手の背中を人懐っこく『ポン』と叩いては談笑する光景に、緊張感が緩んだ。オバマ元大統領の印象は『冷たい秀才』だったが、いつも熱心にメモを取る姿を見てイメージが変わった。2016年、広島でG7の外務大臣会合が開催された時のこと、原爆死没者慰霊碑の前で米国の国務長

官が急遽、向こうに見える原爆ドームまで行こうと提案し、大臣たち皆で歩いて向かった。人柄が醸し出す『その場のぬくもり』や『匂い』などもろもろが、外交の場で『壁』を溶かし、『化学反応』をひき起こす。オンラインの外交では決してこのようなことは起こらないものだ。」ウクライナで紛争が起きていますが、当事国を含めて各国首脳たちが、労をいとわずに直接面会する場と時間を重ねていたならば、異なる動きがあったのかも知れません。

「人生の質は、コミュニケーションの質である。」米国の思想家、コーチングの専門家のアンソニー・ロビンズの言葉です。他者とのコミュニケーションが豊かで深いほど、その人の人生は豊かである、ということを行っています。先ほどのオンライン授業についての教員のコメントや、外交の場のエピソードから、私たちが大切にすべきものがわかるような気がしています。皆さんは、デジタルスキルを駆使し、学び、仕事をするることになりますが、一方で「オンラインはあくまでオンライン」と割り切って利用すること、その場に集い、直接対面して、共に時を過ごすことを大切にしていきたいと思います。「人と人との出会いによる化学反応」は、質の高いコミュニケーションそのものでしょうし、そのことにより「人生の質が高まる」ように思います。

「答えがない時代」「正解のない時代」「自ら考え、行動する時代」

皆さんがこれから歩まれる未来は、このように表現されますが、問題に「答えがない」「正解がない」状況とは、いったいどのようなことでしょうか？ 昨年秋、有馬温泉で女将として旅館を経営されている卒業生の方から、次のような話を聞きました。日本旅館の「おもてなしの心」を何よりも大切にしているが、環境問題やSDGsと旅館経営のバランスについて常に考えている。例えば、夕食に提供するお造りの魚のアラは、年間2～3トンを廃棄していたが、現在では、加工して家畜の飼料として業者に引き取ってもらっている。プラゴミ削減のため、アメニティー用の歯ブラシを竹製に変えたいのだが、導入すればコスト高くなり過ぎる等々。まさに「答えがない」「正解がない」問題について「自ら考えながら、判断し、行動する」女性経営者の姿を女将さんに見ることができました。これまで、ブルー・アース・プロジェクトに参加した生徒の皆さんならば、彼女の思いや苦勞に共感できるのではないのでしょうか。

ミッションという言葉があります。制服の胸のSMSマーク、松蔭ミッションスクールのミッションです。ミッションスクールのミッションは、元来神様が与えた使命として、伝道、布教を行う、という意味ですが、そこから派生して、やるべきこと、使命や任務という意味にも使われます。大学や企業が、ミッションステートメントとして、学生の教育に責任をもって果たすべき事柄や、社会的責任について発表していることを知っている人もいるでしょう。

人間にも、人それぞれに「その人なりの人生のミッション」があるように思います。高校時代に限れば、大学進学であったり、英検合格であったり、部活で結果を残すことであったり、コンクールでの入賞が皆さんのミッションでしたし、皆さんは、感染症による制限のなかでも、精一杯取り組み、褒めるに値する時代でした。

今後、進学先の学校、就職した会社など自分が置かれた場で、その時々、「自分は何を大切にしているのか」「どんな人になりたいのか」「生涯をかけて何を成し遂げたいのか」。このような「自分の人生のミッション」について常に考え続けていただきたいと思います。この作業が「答えがない時代」「正解のない時代」を生きることに他ならないでしょう。失敗を恐れず、勇気をもって歩んでください。そして生涯のなかで、そのミッションを見出すことができたならば、それはすなわち、自分の「生きる意味」「人生の価値」を見出したことになります。

最後に、私たちは松蔭の「特別な空気」のなかで、共に学校生活を送ってまいりました。「特別な空気」というのは、この学校に初めて来校される方や、入試説明会に出席された方から、「何だか優しい空気を感じます。松蔭には特別な雰囲気がありますね」と仰っていただくことが多いのです。今日は、その空気のなかで、全員が一同に会する最後の日となりました。互いに励まし合い、勇気を持ってスクールモットーである「オープンハート、オープンマインドの精神」とともに、これからの時代を生き抜くことを皆で誓い合いたいと思います。同窓会（千と勢会）の本部が南館のエセルホール前に置かれています。どうぞ何時でも、幾つになられても気軽に母校へ帰ってきていただきたいと思います。これまで丸2年、皆さんが高1の3学期の頃を最後に、全校礼拝や式典で声を合わせて聖歌を歌うことはありま

せんでした。「同じ釜の飯を食う」というたとえがありますが、私にとってはまるで松蔭の「同じ釜の飯を食っていない」気分です。将来、どこかで第74回卒業生（H74）の同窓会が開催される時には、脳裏にかすかに残っているであろう聖歌のメロディーを、ご一同で声を出して歌われることを願います。（2021年3月1日 高校卒業式 校長式辞）

### 3月の行事予定

校内での主な行事の予定です。詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

3月1日（火）高校卒業式

3月2日（水）～7日（月）期末考査

\*5日（土）は高1のみ考査。他学年自宅学習日。

3月8日（火）球技大会

3月9日（水）～15日（火）短縮授業期間

\*12日（土）英語レシテーションコンテスト（中学） 中3心臓検診 高校は自宅学習日  
立教大学キャンパスツアー（～13日）

3月16日（水）、17日（木）自宅学習日

3月18日（金）中3卒業式予行、他学年自宅学習日

3月19日（土）中学卒業式 3学期終業式（中1、中2、高1、高2）・松蔭賞授与式

3月20日（日）～ 春休み